活動再開に伴う強化部共通ガイドラインについて

令和2年7月13日

強化クラブ代表

サッカー部監督 今成知尚

１．強化部共通ガイドライン作成について

２．活動再開許可に向けた準備について

1. 活動日から2週間以前の検温ならびに行動報告書類
2. 感染防止のためのクラブ間事前対策計画
3. クラブ毎の活動計画
4. クラブ毎のガイドライン

３．活動日における共通的留意事項

1）入構時のチェック体制および導線

2）活動方法（場所・人数）と時間

3）活動時の共有物（飲料・道具）

4）クラブごとのガイドライン

４．活動実施時の感染予防策について

1. 事前対応
2. 事後対応
3. トイレ・手洗い場所
4. 荷物置場
5. 共有物（飲料・道具）
6. ゴミの廃棄

　５．その他

１．強化部共通ガイドライン作成について

活動自粛から3ヶ月。学生面々のモチベーション維持もいよいよ限界を迎えている今，活動再開に向けてお考え頂き，強化部を代表して感謝申し上げます。

7月9日時点で強化部各監督にはサッカー部が作成したガイドラインの配布ならびに各クラブのガイドラインの作成依頼，今後の再開にあたり再開日以前2週間分の検温ならびに行動報告資料の作成について依頼すると共に自粛期間中の部員管理方法等の現状に関するヒアリングを致しました。その結果，クラブ毎に管理・状況把握・再開に向けた準備と全てにおいて大きな差があることがわかり，強化部として共通認識を持たせた上で再開する必要性を感じ，本ガイドラインの作成に至りました。

つきましては，学園内でのクラスターの発生，オーバーシュートを最大限の努力と認識をもって防止しながら活動して参りますので，本ガイドラインならびに各クラブから提出される競技特性に特化したガイドラインをもとに審査頂き，活動許可を頂きますようお願い申し上げます。

２．活動再開許可に向けた準備について

1）活動日から2週間以前の検温ならびに行動報告書類

　　　今後，クラブ毎に許可されていく活動再開日から遡った2週間分の資料を準備・提出することで活動再開を許可されるものとする。

　　　尚，活動再開後，報告（入構管理表）を怠ったクラブ，学生の翌日の練習および入構は認めない。

2）感染防止のためのクラブ間事前対策計画

　　　種目によりスポーツ特性が大きく異なるため，クラブ毎に提出される対策計画をご参照ならびにご審査ください。また，その際，強化クラブとして4強化団体の水準・ベクトルが合うようお願い申し上げます。

３．活動日における共通的留意事項

1）入構時のチェック体制および導線

　各クラブの代表者（監督・コーチ・主将・主務のいづれか）が正門にて検温ならびに体調確認を実施。またクラブ毎のリストに必要事項を記入し学生課に毎日（活動日）提出する。また，通学の際は必ずマスクを義務付けるものとする。

　《配布するリストの項目》※学生課（今成）作成

　　　a. 氏名

　　　b. 検温（入構時）

　　　 c. 体調ヒアリング

　　　　※入出構時刻の確認は守衛所の学生証認証機器にて確認

　導線については車輌・バイクは学生用駐車場，自転車は図書館裏駐輪場に限定する。尚，7月中は特定の用事（学生課・就職課等）以外はセブンイレブンやトイレを含めて一切校舎内には入らず，練習場と正門を最短で動く努力をする。

2）活動方法（場所・人数）と時間

　クラブ毎に自主トレ状況，コンディション状況が異なるため，基本はクラブ毎のガイドラインをご参照ください。

　尚，共通認識として3密を避けるため，ミーティングはソーシャルディスタンスを保ち，マスクを装着して行う。人数と活動環境が見合わない場合は，チーム区分毎に時間差を配慮する。

●密になりやすい環境と対処

・飲水：チーム区分によって時間差を作る。

　　・更衣：チーム区分や配置，時間差によって対応

　　・ミーティング：マスクの着用，グループ間，時間差

ソーシャルディスタンス，時間短縮等の配慮

　　　・トイレ：休憩時間の時間差，消毒で配慮

　活動時間：7月中は1チーム（1人当たり）練習開始から終了までの全時間を90分以内とし，監督・コーチが現場に帯同できない日のチーム練習・自主トレは認めない。尚，自主トレを含めてチーム練習終了から1時間以内に学外に退去するものとする。

　活動日：①活動制限（人数制限）を有する場合

　　　　　　1週目　1チーム当たり週3日間以内の活動

　　　　　　2週目　　　　〃　　 週3日間以内の活動

　　　　　　3週目　　　　〃　　 週4日間以内の活動

　　　　　　4週目　　　　〃　　 週5日間以内の活動

　　　　　②活動制限（人数制限）を有さない場合

　　　　　　1週目　1チーム当たり週3日間以内の活動

　　　　　　2週目　　　　〃　　 週3日間以内の活動

3週目　　　　〃　　 週4日間以内の活動

　　　　　　4週目　　　　〃　　 週5日間以内の活動

　　再開4週目までは上記活動日数とする。5週目以降については，各クラブ責任者の判断の元，疲労度・熱中症対策も熟慮，実践した上で活動する。また，活動日がチーム間で被る場合は，学生の入れ換え時間差を必ず作り，開始時刻を設定する。

3）活動時の共有物（飲料・道具）

　チームボトル・コップ等，飲料の共有は厳禁とし，原則個人で準備させる。

また，ボールやコーン等の共有がやむを得ない共有物については，都度，アルコール消毒を実施しつつ，スポーツ特性からクラブ毎のガイドラインに沿って留意実践する。

尚，室内練習場横・大乗殿内・卓球道場内（住居者を除く）のシャワールームは使用禁止とする。室内練習場横，大乗殿内の洗濯機の使用も当面の間，

禁止とする。

4）クラブごとのガイドライン

　スポーツによって活動特性が大きく異なることから，共通認識事項以外の

各競技特有の対策について，各クラブ指導者が独自に作成し，責任を持って

実施し続けるものとする。

４．活動実施時の感染予防策について

1）事前対応

学生の集合前段階で，共有スペース・共有物の消毒，手指消毒等のディスペンサー，ス

プレーの設置，室内種目については，1時間以内に1度以上の換気を30分程度行う。

2）事後対応

　 学生の速やかな帰宅を促す。また，出来る限り早く30分以上の換気を始めると共に，学生が使用・滞在した共有スペース（荷物置場・水道・トイレ等），ボール等の共有物，対策に使用した備品を含めて消毒ならびに補充，撤去を行う。

3）トイレ・手洗い場所

　 トイレは練習前中後において，休憩時間差等を配慮することで指導者側が目

の届き難い場所での密環境を削減する。

　 手洗い場所についても蛇口は必ず触れる部分であり，飲水直後に顔や口を拭く行為も考えられるため，注意が必要。練習中にマネージャーやコーチが可能な限り1時間に1度の消毒を行う。

4）荷物置場

　 密が起こりやすい環境となるケースが多くなるため，一定期間，各学生の配置を設定することで距離感を生み出せるよう配慮する。また，シューズやウェアーは必ず自宅に持ち帰らせる。

5）共有物（飲料・道具）

　 飲料は各自スクイズボトルやペットボトルを用意させ，チームボトルやガロンタンク

等，コップを使用した配布も厳禁とする。氷については熱中症対策もあるため，自由にで

はなく指導者の管理下の元で配布する。また，ビブスを使用する種目については，使い回

しをしないよう配慮する。同様に多人数で使用するアイシングプール・アイシングバスの

使用も許可が出るまで使用禁止とする。

6）ゴミの廃棄

　 原則としてゴミは中身を問わず，その日のうちに全て室内練習場裏（対象：ラグビー・サッカー・バスケット，卓球部は道場のゴミ収集場所）ゴミ収集場所に処分すること。

５．その他

　本ガイドラインは大学強化部に特化したものであるが，高校の部活動（野球・

サッカー・ラグビー・卓球）が大学を使用するとなった場合，お互いにとって感

染リスクが大幅に増加することが考えられるため，大学から同様にガイドライ

ンの提出ならびに本ガイドラインの配布を希望いたします。

　最後に，各クラブのガイドラインについては，本資料を作成することもあり，

可能であれば今成も全クラブの資料を確認させて頂き，クラブ間の意識差異を

生まないよう努めさせて頂ければと思います。

　以上の通り，活動再開に際し，強化部の共通認識として感染予防に積極的に努

めて参りますので，何卒ご配慮のほど，よろしくお願い申し上げます。

強化部代表

サッカー部監督

今成 知尚